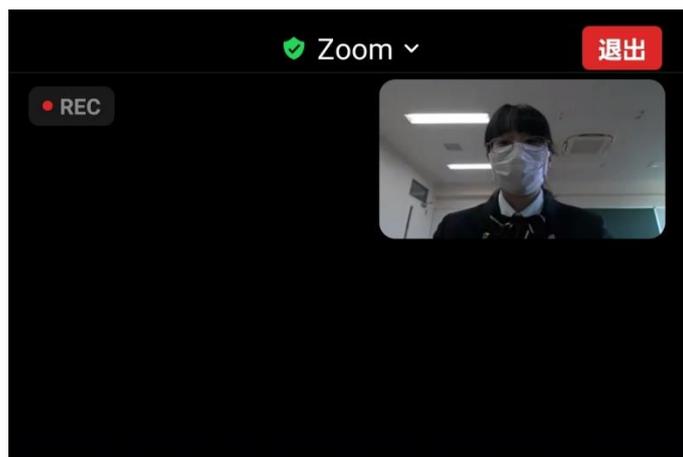


2月5日(土)にオンライン開催された埼玉県主催の「川の再生交流会 2022」に、部員3人と学校内のゼミ室より参加をさせていただきました。高校2年の山口隼弥君と高橋菜生さんが、『芝川で実施をした清掃活動調査と水質調査』をテーマに、10分間の口頭発表を致しました。昨年度から今年度に中学・高校の部員が協力し合って取り組んできた活動の成果を、オンライン参加をされた100人余りの参加者の方々に聞いて頂くことが出来ました。また、高校1年の宇野澤すみれさんが同席をして、見学しました。

中心になってくれた高校2年生は、新型コロナウイルスの影響により活動が制限されている中で、感染対策を十分に講じながらまた勉学と両立をしながら、各調査の計画・実施から調査結果のまとめを経て発表の準備を進めてまいりました。発表用スライドの作成まで、協力し合い完成にたどり着き、また念入りに発表練習を積み重ねたことで、本番では丁寧なはっきりとした口調で10分間語り尽くせました。山口君や高橋君の代(43期生)は、2020年度の入学当初よりオンライン授業で高校生活をスタートし、その後も現地で開催される大きな発表の場(本校の文化祭や埼玉私学文化祭等)は中止が相次ぎ、今回は高校に入学をして初めての公的な発表の舞台となりました。



開会の埼玉県知事による挨拶を聴講



栄東高校 理科研究部員による発表の様子 (右側の写真はオンラインの画面)

待ちに待った初めての外部発表の場を頂けたことを、たいへんうれしく思い、主催者の埼玉県水環境課の皆様にも深く感謝申し上げます。発表に先立ち、理科研究部の卒業生の皆さんからも、過去の芝川研究成果に関する情報提供や発表用スライドの添削に協力を頂き、ありがたく思います。